

令和 6 年度第 1 回山県市総合計画審議会及び 第 2 1 回山県市まち・ひと・しごと創生会議合同会議 議事概要

1. 開催概要

会議名	令和 6 年度第 1 回山県市総合計画審議会 及び第 2 1 回山県市まち・ひと・しごと創生会議合同会議
開催日時	令和 6 年 7 月 2 2 日（月）午前 10 時から
会場	山県市役所 3 階 大会議室
出席者	総合計画審議会委員 (敬称略) 会 長 竹 内 治 彦 岐阜協立大学経営学部 教授 副会長 丹 羽 英 之 山県市社会福祉協議会 会長 委 員 福 井 康 雄 市自治会連合会 会長 宇 野 睦 市商工会 会長 川田 八重子 市教育委員 奥 田 真 也 議会代表（総務産業建設委員長） 寺 町 祥 江 議会代表（厚生文教委員長） まち・ひと・しごと創生会議委員 会 長 竹 内 治 彦 岐阜協立大学経営学部 教授 副会長 黒 見 敏 丈 岐阜女子大学 教授 委 員 福 井 康 雄 市自治会連合会 会長 宇 野 睦 市商工会 会長 戸 松 幸 恵 ぎふ農業協同組合 岐阜北グループ 統括支店長 川 島 誠 市小中学校校長会 会長 服 部 英 裕 株式会社十六銀行 高富支店長 箕 浦 智 之 株式会社大垣共立銀行 高富支店長 高 藤 学 岐阜信用金庫 高富支店長 岡 本 敏 彦 岐阜公共職業安定所 雇用開発部長

	織部 俊太郎 岐阜新聞社 本巣支局長 矢 島 昌 夫 岐北厚生病院 事務局長 丹 羽 英 之 山県市社会福祉協議会 会長 相 宮 一 夫 岐阜乗合自動車株式会社 取締役営業管理部長 今 瀬 義 幸 元岐阜県職員 久保田 裕司 副市長 事務局 丹 羽 竜 之 企画財政課長 奥 村 公 敏 企画財政課 主幹 林 真 里 藻 企画財政課 主事 担当課 各課長等
傍聴人数	0 人
議題	1 開会 2 会長あいさつ 3 協議事項 (1) 令和5年度第2次山県市総合計画後期基本計画及び第2期山 県市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標値達成状況 (2) 令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果検証 (3) 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付 金事業における効果検証 (4) 令和6年度自然と活力調和プラン（第3次山県市総合計画基 本構想・前期基本計画及び山県市デジタル田園都市国家構想総 合戦略）の実施概要 (5) 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の概要 4 その他 5 閉会
配付資料	1 席次表 2 山県市総合計画審議会委員名簿 3 山県市まち・ひと・しごと創生会議委員名簿 4 山県市総合計画審議会条例 5 山県市まち・ひと・しごと創生会議設置要綱

- | | |
|--|---|
| | <p>6 【資料1】令和5年度第2次山県市総合計画後期基本計画及び第2期山県市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標値達成状況</p> <p>7 【参考資料】令和5年度第2次山県市総合計画後期基本計画及び第2期山県市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標値達成状況（詳細報告）</p> <p>8 【資料2】令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果検証</p> <p>9 【資料3】令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業における効果検証</p> <p>10 【資料4】自然と活力調和プラン（第3次山県市総合計画基本構想・前期基本計画及び山県市デジタル田園都市国家構想総合戦略）の実施概要</p> <p>11 【資料5】令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の概要</p> |
|--|---|

2. 議事概要

1 開会

事務局

- ・ 資料確認
- ・ 人事異動等による委員交代報告（7 名）
- ・ 出席状況報告（2 名欠席）、会議の成立要件を満たしている旨報告

2 会長あいさつ

会長

- ・ 本日はこの会議で、ルーティンの、旧計画の達成状況について効果・検証を行う。

3 協議事項

- （1）令和 5 年度 山県市総合計画後期基本計画及び第 2 期山県市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標値達成状況

事務局

- ・ 【資料 1】をもとに令和 5 年度の目標達成状況を説明

会長

- ・ 只今の説明で御意見・御質問は。

委員

- ・ 転出超過数が令和 3 年度、4 年度、5 年度と非常に少なくなっている。これをどう分析しているか。

事務局

- ・ 子育て支援関係の施策をかなり積極的に取り組んできたことが、転出を抑制したり転入を促したりしてきたのではないか。
- ・ 依然人口減少は続いており、それは死亡数の増加が主な要因ではないか。

会長

- ・ 転出超過がこれだけ抑制されたのは凄い。

- ・自然減は人口構成上やむを得ない。
- ・個別の目標値達成状況は良いのでは。

(2) 令和5年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の効果検証

事務局

- ・【資料2】をもとに各事業の令和5年度の目標達成状況を説明

会長

- ・只今の説明で御意見・御質問は。

委員

- ・令和5年度の年度途中から始まった、「自転車で出かけたくなるまちづくり」について、この事業は一体何をやろうとしているのか。

まちづくり・企業支援課長

- ・事業名にある様に、カーボン・マイナス・シティを宣言した山口市において、CO2削減を目指すために自転車を活用したサイクルツーリズムを開始した。
- ・山口市は電車が通っておらず、バスしかない。カーボン・マイナス・シティ宣言をしたというところで、自転車をメインとした中で観光地に人を誘客しようという目的で進めているもの。
- ・歴史、自然、食の3つを軸として、市内に点で存在しているものを、サイクリングコースとして、線で結ぶような事業を進めようとしているところ。
- ・KPIの「地域資源を活用した新商品新メニューの開発」は食の部分。新商品、新メニューの開発をして、プラスアルファで、サイクリングで観光地をつなげていく、点を線で結ぶような事業。市内全域を対象としたサイクリングコースを作る事業。

会長

- ・私もKPIに対しての達成状況に疑問があった。カーボン・マイナスということであり、観光入込客が増えるとカーボン・マイナスにならないこともあり相当難しいだろうと思う。
- ・できる範囲で何を絞り込むか、何を強調するか、数値的に現すのは難しいか。何を強調して何が検証されるか、定性的なところで表現できた方が良いか。
- ・立地的に山口市のようなところで、全くカーボン・ニュートラルに観光を成立させるのは考えにくい。基本的には自家用車で来られる方が多い場所だろうと思う。そこでカーボン・ニュートラルというと、どこかの駐車場まで車でお越しただ

き、そこから自転車で回っていただくとそこは魅力的ですよ、これは大都市部で遺跡などがあって排ガス規制で建物に排ガスがつかないようにとかいう理屈付けができると思う。資源の関係で車が走らない方が良いだろうという場所を設定して、これだけ減りましたよとか、もう少しミクロな設定をしないと、観光入り込み客数でこの話とつなげていくのは難しいと思う。

- ・既に事業採択されて決定している KPI は、それはそれとして、もう少し、具体的な内容で何か設定し、それについて効果検証というか、新しい何かを開発しましたというようなことで、最終的な成果が出せれば。
- ・私は 4 団体でこの委員を務めているが、山県市は断トツでいろんな（デジタル田園都市国家構想交付金を）申請されている。積極的に取り組まれている。ただ、いくつか目標値とずれていたものがあったので問い合わせさせていただいた。3 年間の事業規模 9740 万円に対し KPI のレンタサイクル利用者数目標値が増加分で 7 人は合わない。基準値 303 人、目標値 310 人という様な実績値の方が良いような気がする。むしろ大きな問題として、観光入込客数について、令和 4 年にすごく増え、その後減っている。以前よりかなり増加した令和 4 年度を基準値として増加分を目標値とすると、減ってますよとなっている。その辺りの評価が難しいと感じる。令和 5 年は減ったが令和のはじめ辺りからすごく増えているという記述であれば。基準値が令和 4 年度で良かったか。
- ・山県バスターミナル賑わい創出プラットフォーム整備事業の KPI について、観光案内利用者数について、この施設の来客数は減っているが、客単価は上がっているので問題ない、という評価もできる。観光案内利用者数は、これが違っていたという形で評価するしかない。それはそれで、全体としてどういうところではなく、ニーズがなかったみたいで、組み直していくってことで良いか。
- ・交流人口がどうなっているか、真っ直ぐ減った、増えただけでなく、今後全体として検証が必要か。

委員

-
- ・全体的に、KPI は事業目的を達成するため、やらなければならない数字と思うが、KGI になるような目標を立てられているように感じるところもある。美山地域の保育施設等を中心とした地域創造事業は令和 5 年度で終了したが、KPI が達成されなかった部分についての評価とか検証が読み取りにくいと思う。KPI が達成できなかったがどうだったのか、それによる課題方針が分かりやすいと今後に繋がるのではないかなと思う。

子育て支援課長

-
- ・委員御指摘のとおり、確かに KPI を達成できない部分があり、今後この効果検証の表記方法は改めさせていただくとともに、この事業に関しては、この期間中コロナ禍であり、達成するのが難しい期間ではあったが、その中においても一定の効果が得られていると私もは思っているところ。昨年度は検討委員会を開き、何が必要か知ることができた。この期間に民間施設に移行することは叶わな

かったが、それに向けて美山地域の保育園にどんな民間活力を注入できるかという問題整理ができた。そのことを踏まえた効果検証ができるように、今後変えていきたいと思う。

(3) 令和5年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業における効果検証

事務局

- ・【資料3】をもとに令和5年度の効果検証を説明

会長

- ・只今の説明で御意見・御質問は。
- ・それぞれ目的に適った事業ができたということで良いのでは。

(4) 令和6年度自然と活力調和プラン（第3次山県市総合計画基本構想・前期基本計画及び山県市デジタル田園都市国家構想総合戦略）の実施概要

事務局

- ・【資料4】をもとに令和6年度の目標、取組方針の概要を説明

会長

- ・只今の説明で御意見・御質問は。
- ・開始したばかりの計画、この時点で何かということはない。来年の報告から進捗を見守っていきたい。

(5) 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金事業の概要

事務局

- ・【資料5】をもとに令和6年度の交付金事業の概要を説明

会長

- ・只今の説明で御意見・御質問は。
- ・比較的観光分野が多い。例えば「自転車で出かけたくなるまちづくり」と「山県市の観光拠点アウトドアツーリズムセンター整備事業」、関連付けたり相談しているか。

総務課長

- ・総務課で所管しているのは「山県市の観光拠点アウトドアツーリズムセンター整備事業」
- ・市内各観光拠点がそれぞれ単独の観光地となっているのが現状。これらの観光拠点を有機的に連携しようということで、市内各地の観光案内を行う施設を新たなセンター内に設置予定。
- ・「自転車で出かけたくなるまちづくり」に関しては、新たなセンター内に、サイクルスタンドなどを設置し、自転車でも訪れていただけるような場所として、この計画に上げていただけるような協議をしている。連携はとっているつもり。

会長

- ・多分「山県市の観光拠点アウトドアツーリズムセンター整備事業」の方が大きな事業で、その一部として機能する形で連携を取っていただきたい。
- ・補助金なので事業を切り分けた上で、うまく繋がって行けたら良いかと思う。
- ・一応これでこの会議で検証、承認いただいたという形にしたい。

4 その他

委員

- ・個人的に自転車に乗っている。山県市には山県ばすけっと、みとかななどの施設にサイクルスタンドが置いてあり、自転車による新しいまちづくりを行っている印象を受けている。
- ・レンタサイクルを想定している場所として調べると、大桑地区のサイクリングマップが出てくる。基本的には大桑地区を走ってもらおうとされているか。

まちづくり・企業支援課長

- ・はい。レンタサイクルは、大桑地区の四国山香りの森公園を起点とした鳥羽川サイクリングロードを軸に考えている。

委員

- ・自分の自転車で走りたい人も多くいると思う。名古屋から来ようと思うと、岐阜まで自転車を車に乗せて持ってきて、岐阜市から山県まで 10 キロぐらい市街地を自転車で走るのはちょっと面倒くさいと思う。車で運び、そこから自転車に乗るほどの何か物（魅力）があるのかと言われるとなかなか難しい。
- ・美山からレンタサイクルで下りだけを楽しんでもらい、山県ばすけっとで自転車を返せるようなものはどうか。

- ・長良川鉄道や樽見鉄道ではサイクルトレインというものを行っている。モネの池や薄墨桜など考えた広い長い距離のコース設定も想定できるのでは。
- ・KPI は新たに設定するものではないかもしれないが、サイクリストに、必ず同様の道で、何か配ったりして、どのぐらい自転車乗りの人が来ているのか調べる方法も、レンタサイクルだけでなくいいのかと思う。

会長

- ・たいへん貴重な指摘だと思う。具体的に自転車と何を求めるかというところだと思う。基本的には皆さん車で来られてしまう。その車を使わない理由がどこにあるのか。
- ・車で行きにくいところ、道が狭くてすれ違いにくいところなど、何かしら車を離れる理由がある場所で車を停めて、そこから自転車で結べるかどうか。ひょっとしたら広域の方がいいかもしれないと思う。せっかくこの辺りまで車で来て、自転車に乗ってきたらもう少し広域で走った方が現実的じゃないかというのはご尤もな指摘。
- ・大きな KPI としてはこれでいいかもしれませんが、もう少し具体の設定しないと、入込客数だけで勝負するのは大変か。その事業によって確実に変化が起ころう何かを目標とするのも大事か。

委員（副市長）

- ・市の考えというか私個人の考えになるかもしれないが、今までにいただいたご意見に関してコメントさせていただく。
- ・今、委員から話のあった自転車のまちづくりについて、万全なストーリーはまだできていない。手探り、トライアンドエラーというかチャレンジでやってる部分はある。
- ・市長自身、自転車が大好き。委員のご提案、とてもいい話。コース設定を具体的にすると、自転車で巡る魅力をビジュアル的に発信する事業を今年度事業で行う。
- ・昨日、伊自良で「灯す」というイベントがあった。去年は大渋滞だったので、今年渋滞する前に車でいった。自転車で行くのはとてもいいこと。例えば山県バスけつとやみとかから、ハリヨ公園を通過して現地へ行く。担当課長が言った様に、点を線、面に繋いでいくって発想が重要で、例えばそこから伊自良湖へ行ってみようかというような、魅力的なものを作っていこうというのはこれからの事業。
- ・大桑（城跡）に関しては前的大河ドラマ「麒麟がくる」の関係で、結構来客があった。今、市は国の重要文化財の指定を目指している。指定されると、そのタイミングで多く来訪が見込まれる。会長さんからお話あった様に、来客数が多くなると脱炭素にならないという指摘。KPI の設定に課題があるかと思ったが、これから来客が多くなった時の対応として、シャトルバスなどの検討もあったが、自転車を活用していただくというようなコンセプトも進めている。
- ・今年は上級者向けのモデルコースを設定しようとしている。その後に中級者や初心者向け（のコースを設定する）。上級者向けの知識がないが、100km 以上とのこと。木曽川河川からこの辺りに来るぐらいでないと、上級者にとって全く魅力

がないということで、まずは上級者目線でコースを作る予定。その後、自転車愛好家の方々から様々なご意見をいただきながら、初心者から上級者まで使えるコース設定を目指していく。

- ・ KPI は達成できなくてもペナルティはなく、まずは目指してみようというのが地方創生の考え。まずは目指してみて、知見を得て、次のステップへ進んでいく。国も、トライアンドエラーで良い方向を目指していこうという考えで、市もその方向。自転車に関しては、ぜひ愛好家の方から様々なご意見いただければと思う。
- ・ 山県市が消滅可能性都市に入ったという話題は思ったほど出ていない。竹内会長が岐阜新聞でコメントされていたとおりだと思う。振り回される必要はないが、女性が男性よりも 2 倍 3 倍流出という自治体があるとマスコミで報道された。山県市でも女性の転出が多い。転出超過は減っているが、自然減は避けられない。全国的に下げられないと思う。死亡者数以上に出生数を増やすのは日本の現代社会において困難だと思うが、社会増減の要素としては、転入が増えたか、転出が減ったかがポイント。数字で見ると限り転出がそんなに減っているわけではなく、転入が減った。人口分析したところ、確か 30 代、40 年が転入超過になっていた。前年度、前々年度も結構増えていた。さらにその前の年度は転出超過だった。やはり、3 歳未満児の保育料無料化と、学校給食費の無償化が大きな要因ではないかと個人で分析している。ただ、発信力が弱く、開始した年よりも後に口コミ需要があって増えているので、今後も当分の間転入が増えるかもしれないと思う。
- ・ 人口減少対策について、まず何をすべきか問うと、多くの人が「企業誘致」、もう 1 つは「子育て支援の少子化対策」と言う。ただ、以前この会議で、「企業誘致したら地場企業がどうなる」と商工会長さんがおっしゃって自分もハッとした。ある地方で大型企業が進出し、地場産業が本当に大変なことになっている。基幹産業は一企業だけでなく関連する企業もある。大きな企業が来て、そこで一時的に良くてその企業が撤退したらそのまちはどうなるか。企業誘致はすれば良いが、企業誘致ばかりではだめ。
- ・ 少子化に関して、2 人で 1 人の高齢者を支えていた時代が、2 人で 2 人を支える、肩車になるのではとされている。なので、2 人（夫婦）で 2～3 人子どもを増やすような理想なことを言われるが、高齢者が元気でなければならない。2 人で 2 人を支えるならその上の肩車に乗っかる 1 人が下に降りれば 3 人で 1 人を支えることになるという転換が必要。
- ・ 少子化対策は絶対必要だが、高齢者の健康寿命と、元気に働き続けるということが大切。総合計画において子育て施策も重要だが、高齢者政策ももっと力を入れるべきだと思う。
- ・ 高齢者が元気に働ける、シルバー人材センターだけでなく、ボランティアとか、生きがいを持てるような地域づくりをしていこうと来年度に向けて検討を始めている。

会長

-
- ・ 人口戦略会議の消滅可能性都市に山県市が入ったことの地元の受けとめはどうかと思っていた。この会議自体、総合計画は元々あったが、デジタル田園都市国家構想総合戦略、人口ビジョンの始まりが 10 年前、消滅可能性都市のところ、人口ということだった。

- ・岐阜県も 10 年前に人口研究会を作り、その時に私は関わっており、今回、山県市も入った会議を開催し、今、中間報告をまとめている。
- ・副市長からの話にもあったが、消滅可能性云々という議論に付き合う気はない。女性人口が 50%減で消滅、45%だと消滅しないというようなことはありえない。どちらにしても人口は減る。その中で、流出は課題としてあり、人口が減った中でどういう地域をつくるか。レポートでは封鎖人口と言って人口の社会移動がないとした場合の対策を講じないと、というところ。
- ・ある自治体では出生数が 10 人だった。その自治体としては例年と比べてすごく多かった。その年に 100 歳になった方が 10 人居た。そういう自治体で自然減対策しろと言われても無理な話か。
- ・ある程度人口が減っているのは前提として受けとめ、副市長が言われたように、高齢者の方も元気、少なくとも 70 歳まで、生涯現役社会を、そういったところが課題になっていく。
- ・消滅可能性都市は、20～49 歳までの女性の減の話。一般的に転出で起こる話。山県市は転出が減っているのに、マイナスが大きいという評価になっている原因は協議のあるところ。
- ・自治体の範囲でやっているのに無理があるということも確か。岐阜県が面白いのが下呂市と海津市が、ほぼ同じ人口規模でほぼ同じ出産件数なのに、合計特殊出生率がものすごく違うとか、人口構成や、若い女性が留まるか留まらないかでいろんな値が変わる。
- ・山県市の場合は、若年人口の移動が岐阜市絡みで非常に大きくある。若い時に岐阜市などに転出し、出産を経て子育て期に山県市に戻ってくるケースが結構ある。それが影響していると思う。自治体単位で見てもあまり意味がない。ある程度広域で考えていかないとだめだろうというところまで、県のレポートでまとめていると思う。

副会長（まち・ひと・しごと創生会議）

-
- ・KPI の実績数値、下がったならその影響をどう思うか、ちゃんと考えられるような数値設定をしておかないと。KPI を見てその次の施策を考えにくい。下がった原因が分からないと次どうするかという議論になっていかない。ストーリーを考えた数値設定が必要。今後細かな数値設定を行う場合、考えていくと良い。
 - ・私の身の回りにも自転車愛好家が居る。自転車が好きな方は機動力が高く、自転車で観光地を巡って、SNS で情報発信してもらおうと確かに効果は大きい。
 - ・カーボン・マイナスを考えるのであれば、バスと、自転車を組み合わせることを考えないといけないか。サイクルトレインの様に自転車をそのままバスに載せるのは難しいが、可能な車両を導入してもらおうこともあるか。自転車を折りたたんで携帯している人も居る。バスのネットワークとレンタサイクルのネットワーク、車で自転車を持ち込んだ人を組み合わせた事業を考えると良いのでは。

5 閉会

会長

- ・ 以上で本日の会議を終了する。

(終了)